

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0403006

政策目標	4	うるおい・雄武	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	19	消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	B		
単位施策	1	災害予防対策・危機管理対策の強化	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	北海道総合行政情報ネットワーク更新整備事業		見直し年度			
事業期間	平成24年度		担当課	4	住民生活課	
事業主体	北海道		関係課	#N/A		
事業指標	北海道総合行政情報ネットワーク市町村局の老朽更新			#N/A		
事業目標	老朽更新工事一式		ハード/ソフト 事業区分	1	ハード事業	
住民参加	2		関係例規・法令名	⇒		
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計画内容	北海道総合行政ネットワークは、国の周波数再編に伴い現行システムの使用期限が平成24年度までとなり、新システムへ移行することになっていることから、各市町村においても機器の老朽更新工事を行うものである。						
	市町村局老朽更新工事 (負担金拠出)						
計画事業費	事業費(千円)	2,430	0	0	0	2,430	
	財源内訳	国庫支出金	0				
		道支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
一般財源	2,430				2,430		
実績事業費	事業費(千円)	2,419	0	0	0	2,419	
	財源内訳	国庫支出金	0				
		道支出金	0				
		地方債	2,400				2,400
		その他	0				
一般財源	19				19		
関連事項	(特定財源の詳細等) 地域活性化・経済危機 対策臨時交付金	【評価・実績】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
			※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	
						※前年度評価結果	
						※前年度評価結果	
						※前年度評価結果	
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値				ネットワーク更新一式	
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		全体達成率	0%	0%	0%	0%	
		事業進捗状況				☆☆☆☆	

事業名	北海道総合行政情報ネットワーク更新整備事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	渡邊 孝司
		評価者 作成者 職氏名	住民活動係長	南 慎一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	北海道総合行政情報ネットワーク	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	改修工事件数	
【抱える課題やニーズは】	国の周波数再編に伴い現行システムの使用期限が平成24年度までとなっており、新システムへ移行することになっている	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	国の周波数再編に伴う新システムへの移行。	① 改修工事件数	目標年度	平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	光ケーブルによる通信となることにより送受信可能なデータ容量が拡大されるため、短時間で大量の情報の発信・受信が可能となり、的確な情報伝達が実現する。		目標値	1式
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	北海道総合行政情報ネットワーク更新 北海道総合行政情報ネットワークのシステム更新	②	実績値	1式
			達成度	100.0%
			目標年度	年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	北海道の方針により道内一斉に整備が進められており、当町においても必要な事業である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	設計どおり改修工事を行い、国の周波数再編に伴う新システムへの移行を終えた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	北海道が一括発注したことにより事業費が抑制され、また、購入に係る事務作業の軽減も図られた。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	短時間で情報の発信・受信が可能となり、町民に素早く情報を伝達できることから公平である。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
当初の計画どおり、改修を終えた。		

今後の展開方向
(Action)

終了		
新システムへの移行により、短時間での大量情報の発信・受信が可能となり、的確な情報伝達を実現する。		

※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止